



キミテツ DXへの取り組み

令和7年2月策定

トップメッセージ



当社は昭和36年に創業し、君津郡という地域の中で設立以来半世紀以上の間を、紆余曲折ありつつも、技術力を誇りに地域と共に成長してきました。昨今では環境の変化が著しく、旧来依然のままではお客様の需要・法対応に応えることが難しくなっており、様々な分野でのDX化が急速に進んでいます。建設業界は、現場ごとに環境が大きく異なる事・作業の標準化が難しい事・手作業による業務が多い事もあり、デジタル化に遅れている傾向があります。また、職人の高齢化と若年人材の不足は建設業界で顕著にみられており、高齢人材の退職前に若手人材を確保し技術継承を行わなければなりません。

このような環境を踏まえ、「DXへの取り組み」を策定し、改めて経営理念を確認するとともに、経営ビジョンに基づき社員一丸となって意識改革を行います。また現場・バックオフィスの双方で、デジタル技術を活用することで更なる生産性・作業品質を向上させ、社員の作業のしやすさ・満足度の向上を追求することによって、お客様のニーズに素早く対応し、地域と共にあり続ける企業として、次世代につなぐために出来ることからひとつずつ、社業に邁進していきます。

1.キミテツ 目指す姿・DX戦略策定の目的

経営理念

地域と共にあり続ける

経営ビジョン

- 責任を持つ
→誰から見ても恥じぬ仕事をする
- いままでとこれからをつなぐ
→確かな技術継承と時代に沿ったアップデートを行う
- 誇りを持つ
→建物の視点から世代間バトンを渡す役割を担う自負

DX戦略の目的

- 現場とバックオフィスでデータ共有を行い、遅滞ない情報共有を行う
- 過去の案件等の情報をデータベース化し、参照資料として検索しやすくする
- どの情報がどこにあるのかを、社員全員が共通認識として持つ
- 業務のデジタル化による効率化を各々が意識する

2.キミテツDXの具体的な戦略

①データ共有 既存システムからVPN接続へ移行。

HOME type SL → NASへのVPN接続

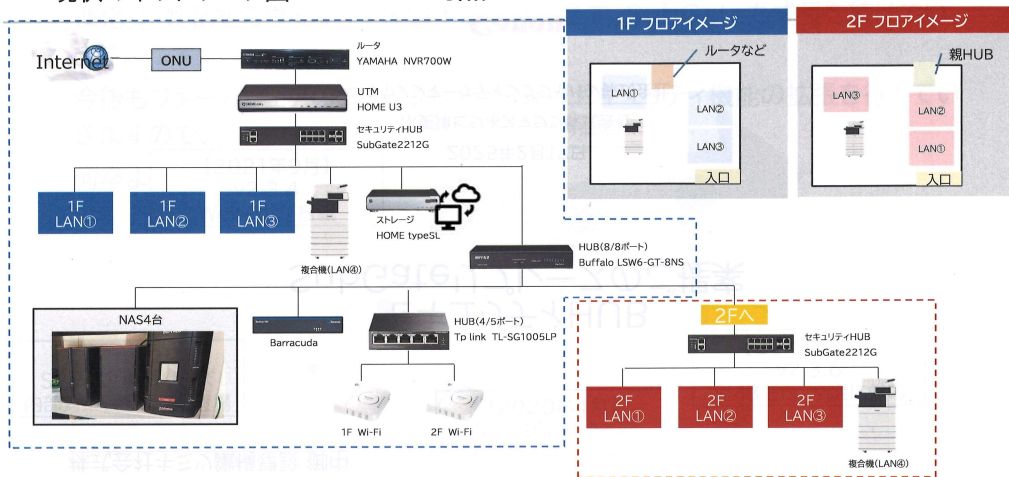
②蓄積した業務データの一元化及びバックアップを行う。

NAS、バラクーダ

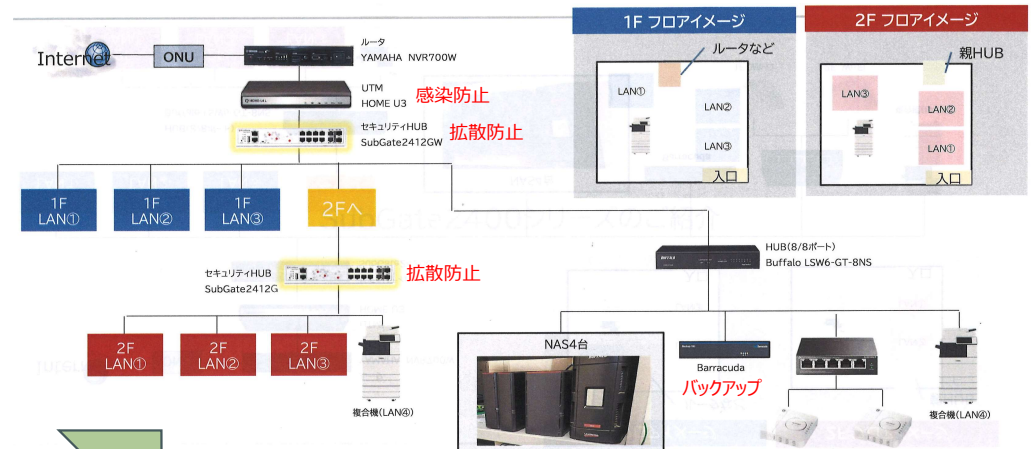
③セキュリティ対策（識別・防御・検知・対応・復旧の各段階で必要な対策）を行う。

Home U3 pro、SubGate、各PCにESET Antivirus

現状のネットワーク図 R7.1.21時点



R7.4.1~



現場-本社
共有データ
基幹システムの変更

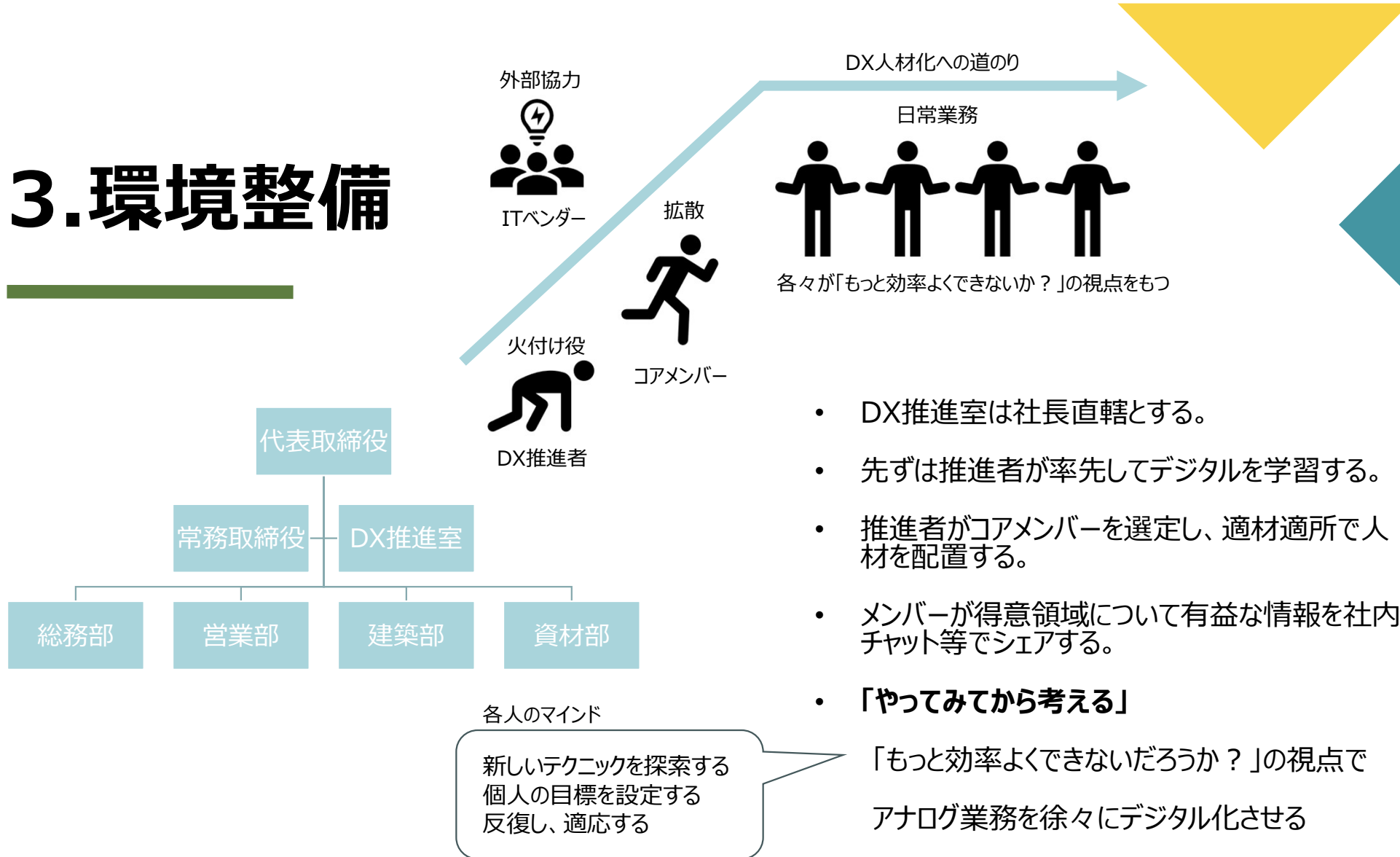


既存システムを活かした外部接続によりデータの一元管理が可能になる

↓

どの情報がどこにあるのか？
社員全員が分かりやすくなる

3.環境整備



- DX推進室は社長直轄とする。
 - 先ずは推進者が率先してデジタルを学習する。
 - 推進者がコアメンバーを選定し、適材適所で人材を配置する。
 - メンバーが得意領域について有益な情報を社内チャット等でシェアする。
- 「やってみてから考える」
- 「もっと効率よくできないだろうか？」の視点で
アナログ業務を徐々にデジタル化させる

4.成果指標

| 戦略 | 指標 | 目標 |
|------------------------------|----------------------------------|--------|
| データ共有 既存システムからVPN 接続へ移行 | 外部接続システム構築完了 | 令和7年7月 |
| 蓄積した業務データの一元化及び バックアップを行う | データベース構築の見直し | 令和7年7月 |
| ウイルス感染を前提としたセキュリティ 対策を行う。 | 識別・防御・検知・対応・復旧の 各段階で必要な対策を行う。 | 令和7年7月 |

- ・各指標についてはDX推進室にて進捗状況を把握する。
- ・ITベンダーと連携し作業環境のアップデートを柔軟に行う。